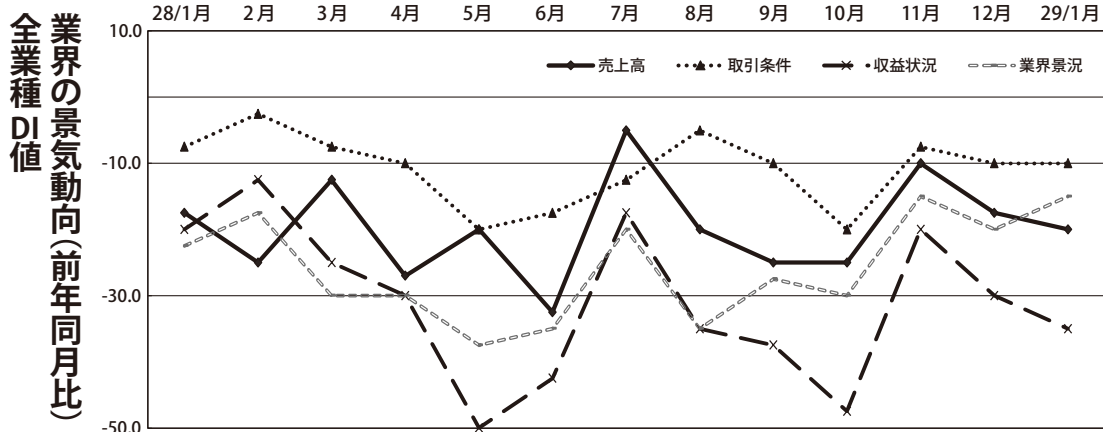


業界の今!

1月の業界の動き

平成29年1月度 情報連絡員報告



	28/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29/1月	増減
売上高	-17.5	-25.0	-12.5	-27.0	-20.0	-32.5	-5.0	-20.0	-25.0	-25.0	-10.0	-17.5	-20.0	-2.5
取引条件	-7.5	-2.5	-7.5	-10.0	-20.0	-17.5	-12.5	-5.0	-10.0	-20.0	-7.5	-10.0	-10.0	0.0
収益状況	-20.0	-12.5	-25.0	-30.0	-50.0	-42.5	-17.5	-35.0	-37.5	-47.5	-20.0	-30.0	-35.0	-5.0
業界景況	-22.5	-17.5	-30.0	-30.0	-37.5	-35.0	-20.0	-35.0	-27.5	-30.0	-15.0	-20.0	-15.0	5.0

概況 平成29年1月の前年同月比DI値は前月に比べ、「売上高」は2.5ポイント、「収益状況」は5.0ポイント悪化した。取引条件は増減なく、「業界の景況」は5.0ポイント改善し、全体的に小幅な動きであった。
業種や取り扱う製品により、景況感はばらつきが見られる。また、受注量は増加しているが、収益が改善しないという報告もあった。1月は北勢地域で大雪があり、運輸業や一部の小売業に影響が出た。電力の値上げや原材料の高騰もあり、中小企業の先行きは依然として注視していく必要がある。

仕事量が増加傾向だが収益は改善みられず(一般機器(四日市))

	具体的な業種	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製造業	醤油味噌	景気低迷により、組合員の得意先によっては信用不安もあり、相変わらずの停滞が続いている。原材料表示についてはほぼ決まりつつあるが、HACCPについては検討されているところである。小学校へのしょうゆ出前授業については、今年度、県別で全国トップになりそうである。
	製麺	昨年度、平成27年12月と平成28年2月は伊勢うどんの売り行きが好調であったが、やや落ちついてきている。今後さらなる発展のために、イベントや伊勢うどんの新しい商品開発をはじめ、組合活動に取り組んでいく。
	衣料	外国人技能実習制度への対応が変わり、現状の維持ではなく、色々と対応が必要になりそうである。前年とあまり変化はないが、衣料品は相変わらず厳しい状況である。加工賃も前年と同じ位安い価格で推移している。また、ロット数はやや減少している。
	一般機器(四日市)	一時期に比べるとやや仕事量が増加している傾向にある。しかし、収益状況にはなかなか改善がみられず、組合員も経営努力に努めている。
非製造業	家電	1月度対前年比大幅ダウンの見通し、なお厳しい状況である。業界では、29年度商戦の考え方や商品勉強会等を実施、具体的な販売促進策の検討をしている。29年度春商戦は、3月～4月に地区ごとに合同展示会を企画している。
	石油	1月度の燃料油販売のうち自動車燃料油数量については、前年対比3%前後の減販であった。特に燃料油の中で寒波の影響もありガソリン販売は低迷したが、灯油については前年対比8%前後の増販であり、燃料油全体としては、2～3%の増販の状況であった。
	商店街(熊野)	第5回目として開催された熊野のサンマをPRするイベント「熊野きのもと さんま祭り」は、熊野周辺ほか県外などからの集客があり、昨年以上の盛り上がりを見せた。特に、今回は会場近隣の熊野古道を周遊した後、会場に訪れるツアーも組み込まれ、名古屋周辺のツアー客300名がさんま丸干しを堪能した。
	内装工事業	昨年末からの流れで、1月も対前年比で売上等減少となった。業界内では、年度末に向けて仕事量は増加傾向にあるが、これも地域差があり業界全体ではマイナスとなっている。